令和６年度２学期終業式あいさつ

皆さん、おはようございます。

早いもので、今年も残すところあと１週間あまりとなりました。今日で２学期が終わります。

さて、皆さんにとって、今年は、そして、この２学期はどんな学期でしたか？今日は２学期を振り返りながら、私が２学期に感じたことを皆さんに伝えたいと思います。

先ずは９月の体育祭、応援合戦は皆さんの熱量と気合が応援席まで伝わってくる素晴らしいパフォーマンスでした。特に練習から本番まで団を見事にまとめた２年生のリーダーシップは秀逸でした。また、企画・運営を担当してくれた体育祭中央実行委員会の実行力は見事でした。10月には、２年生は５年ぶりの台湾への修学旅行に行きました。台北市立松山高級中学校との交流をはじめ学びの多い、とても楽しい修学旅行でした。１年生、３年生はクラス別の遠足に行きました。とても楽しかったと聞いています。そして、毎日の授業や部活動で皆さんが全力で取り組む姿、探究活動で積極的にチャレンジする姿が印象的でした。

今から20年前ぐらい前、私が教諭だったころ、私は、進学者の多い、いわゆる進学校から少し課題のある高校へ転勤しました。４月の授業中のことだったと思います。「先生は、〇〇高校から転勤されてきたんですよね。〇〇高校の生徒と私たちと、どこが違いますか？」と１人の生徒が聞いてきました。私は、突然のことでびっくりしましたが、「〇〇高校の生徒も皆さんも同じ高校生。何も変わりはない。だから授業も同じ内容の授業をしている。ただ、あえて違いを指摘するなら、それは集中力です」と答えました。生徒たちは同じ内容の授業をしてもらえることを喜んでいましたが、なかなか自分に自信が持てない、自己肯定感を十分に持てていなかったのかなと思います。

では、畷高生はどうか？

この２学期、皆さんの授業をたくさん見学しました。畷高生は全体として集中力はとても高く、畷高祭や体育祭では抜群の集中力を発揮します。授業中もみんな真面目で、頑張って授業を聞いています。ただ、よく観察すると、授業中の皆さんの集中力にはかなり個人差があります。全集中している生徒もいれば、途中で疲れて寝てしまったり、心ここにあらずの生徒もいます。ノートやプリントを見ても、やはり差があります。

授業に完成形はありません。だから、先生方は、少しでも皆さんに興味・関心をもってもらえるように、何時間も準備をして１時間の授業に臨まれます。私は「畧高の授業にもっと集中すればさらに可能性が広がるのに。もったいないなあ」と思っていました。

ある著名な心理学者は、「頭のいい人、悪い人という区別がよくされるが、本当の天才を除いたら、あとはそう大差ないのが人間である。それでいながら、両者をへだててしまうのは、ほとんどの場合、頭の善し悪しではなく集中力の有無である」と述べています。

集中力こそ、本番で実力以上の力を発揮できる特効薬です。そして、その積み重ねが皆さんを成長させてくれます。私は、皆さんには「伸びしろ」しかないと思っています。授業にもっと集中してほしい。授業にもっと夢中になってほしい。それが、私が皆さんに伝えたいことです。

さて、３年生は、共通テストまで１か月を切りました。不安やプレッシャーを感じている人も多いと思います。２年生はあと１年後、１年生は２年後には同じ立場になります。本校には、畧高生は受験直前まで伸び続けるという伝統があります。本当に入試直前まで伸びるので、どんな状況であっても、自分はまだ伸びると信じて最後まで集中して頑張ってください。

「雲外蒼天」

受験という困難を乗り越えた先には、青空、明るい未来が待っています。７７期生の健闘を期待しています。

では、健康に十分留意して充実した冬休みを過ごしてください。３学期に皆さんと笑顔で会えることを楽しみにしています。